

第5次熊野町総合計画

平成28年度まちづくり指標 進捗状況

将来像

ひとまち育む筆の都 熊野

基本目標

- こころもからだも健やかな「ひと」を育む熊野
- 暮らしやすく、元気な「まち」を育む熊野

計画期間

基本構想	平成23年度～平成32年度
前期基本計画	平成23年度～平成27年度
後期基本計画	平成28年度～平成32年度

平成28年度末現在におけるまちづくり指標進捗状況をまとめましたので、お知らせします。

※基準値(H22)は、計画策定時における把握数値であり、平成22年度実績値とは異なる場合があります。

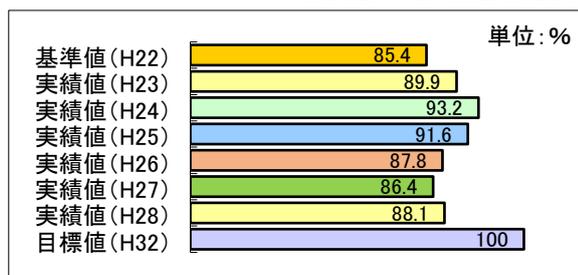
※目標値(H32)は、後期基本計画策定時における見直し後の設定数値となります。

基本目標1 ころもからだも健やかな「ひと」を育む熊野

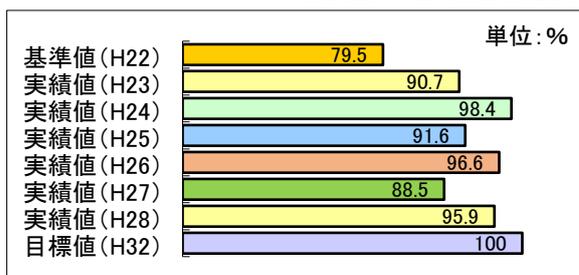
政策目標1 子どもが健やかに、たくましく育つまちとする

子育て世代の多様なニーズに応じた子育て支援や子どもが健やかに育つ環境づくりを進めるなど、地域全体で子育てを支援し、子育てを楽しむことのできるまちとします。また、一人ひとりの子どもが基礎学力を身につけ、それぞれの能力や個性に応じて独創力を伸ばし、将来を担う人材として豊かに育まれるまちとします。

■乳幼児健診の受診率(1歳6ヶ月児) (子育て・健康推進課)

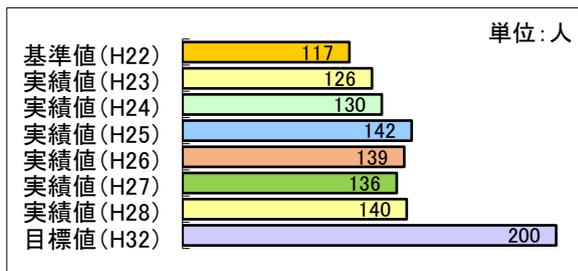


■乳幼児健診の受診率(3歳児) (子育て・健康推進課)



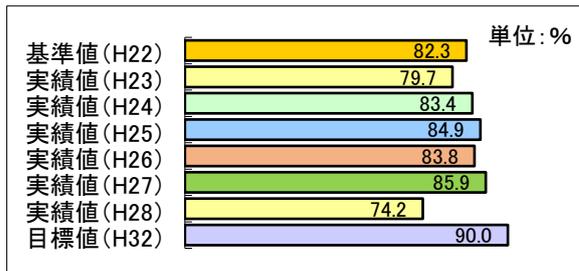
乳児家庭全戸訪問事業『こんにちはあかちゃん訪問事業』により、生後2か月～4か月の乳児・産婦に対し家庭訪問を実施した。また、各幼稚園・保育所と連携をとり、健診受診勧奨を行うほか、保護者に対しては健診の必要性について周知している。H28家庭訪問実施率(97.2%)

■ファミリーサポートセンターの登録者数 (民生課)



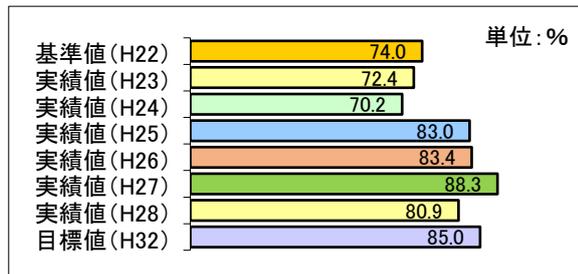
会員相互の育児に関する援助活動を行うことにより、子育て家庭に対する支援環境の整備を行なう事業である。制度の紹介や広報誌等による周知、公民館等での勧誘、地域活動団体等への協力依頼を継続して行っているが伸び悩んでいる。

■「授業がわかる」と回答した児童の割合 (学校教育課)



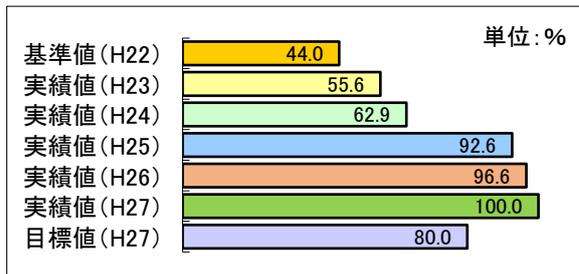
平成28年4月に実施した全国学力・学習状況調査(小学6年生)でのアンケート結果。

■「授業がわかる」と回答した生徒の割合 (学校教育課)



平成28年4月に実施した全国学力・学習状況調査(中学3年生)でのアンケート結果。

■学校施設の耐震化率 (学校教育課)

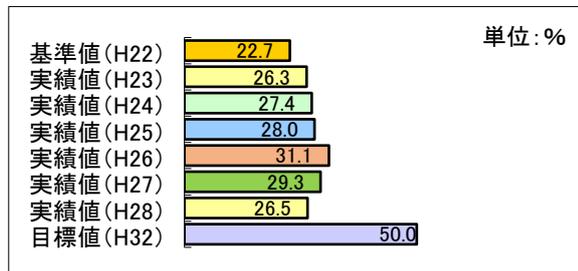


平成27年度に学校施設の耐震化率100%を達成した。(前期基本計画で完了)

政策目標2 共に支えあい、健やかに暮らせるまちとする

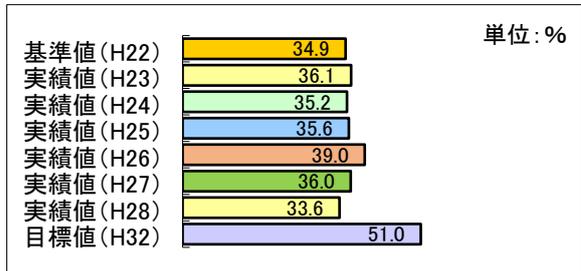
住民が安心して、地域で暮らしていくことができるよう、生涯にわたる心と体の健康づくりを支援します。そして、地域全体で共に支えあう地域福祉社会を構築し、高齢者や障害者など、誰もが地域で自立し、生活できるまちとします。

■各種がん検診受診率 (子育て・健康推進課)



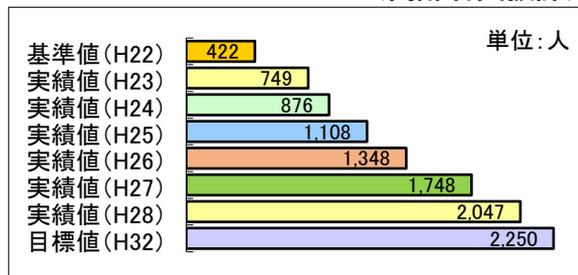
受診率が下がっているため、受診勧奨や受診の必要性など情報発信に取り組んでいく。肺がん検診(21.4%)、胃がん検診(15.5%)、子宮がん検診(30.9%)、乳がん検診(32.3%)、大腸がん検診(32.1%)
(※平成28年度実績値から県内統一の集計方法に変更となったが、比較のため旧算出方法により表示。)

■特定健康診査受診率 (住民課)



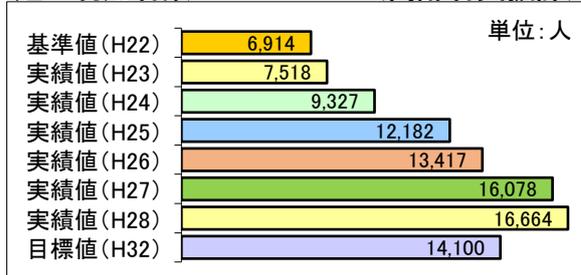
受診対象者: 4,591人
受診者: 1,542人

■認知症サポーター数 (高齢者支援課)



一般住民・金融機関・中学校生徒に認知症サポーター養成講座を行った。養成後の活動先でもある認知症カフェが軌道にのり、サポータースタッフの生きがいの一つにもなっている。

■高齢者ふれあいサロン(ミニデイホーム)の延べ利用者数 (高齢者支援課)

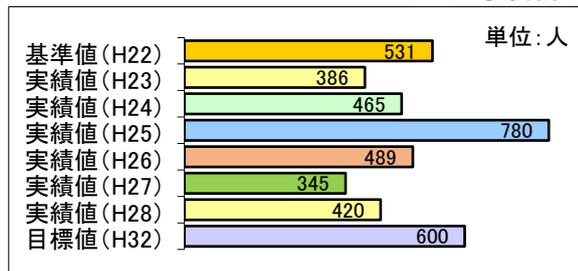


サロンの新規開設はないが、開催回数を増やしたことで利用者が増加している。麻雀やカラオケ等を実施するなど男性の利用者を取り込むための工夫をしている。

政策目標3 住民の誰もが尊重され、活躍できるまちとする

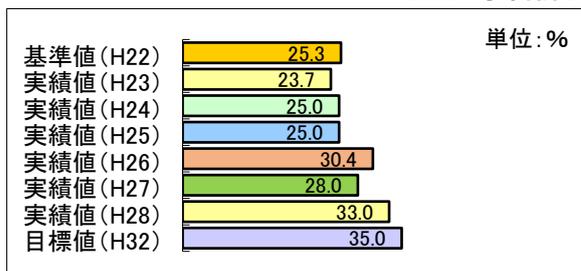
人権が尊重され、すべての人が自分らしく生きることのできる社会を構築し、この地域社会の中で、世代を超え、それぞれの経験や技術を生かしながら、誰もが社会参加し、活躍できる活力と連帯感あふれるまちとします。

■人権尊重を目的とした講演会等の年間参加者数 (生涯学習課)



公民館・交流館全3館における人権学習講座や、生涯学習課における年3回の人権講座を実施した。また、男女共同参画については、講演会と年3回の講座を実施するなど、講座回数の増加に伴い、参加者数も前年度を上回った。

■審議会などにおける女性委員の比率 (生涯学習課)

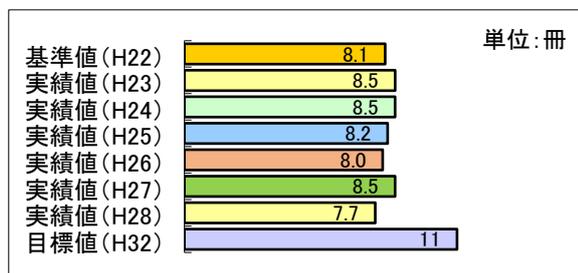


町民を対象に男女共同参画セミナーや講演会を開催し、男女共同参画の啓発を行った。

政策目標4 住民が創造力を発揮できるまちとする

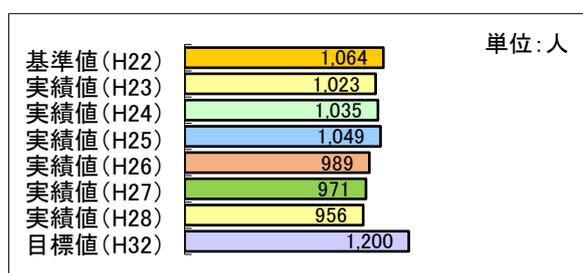
住民が生涯の各時期に応じた、身近な暮らしの場で、学習できる機会と場を確保します。そして、文化・スポーツ活動に親しむことのできる環境づくりを進め、新たな熊野の文化を創造・発信するなど、住民の誰もが創造力を発揮できるまちとします。

■図書館における人口一人当たりの貸出冊数 (生涯学習課)



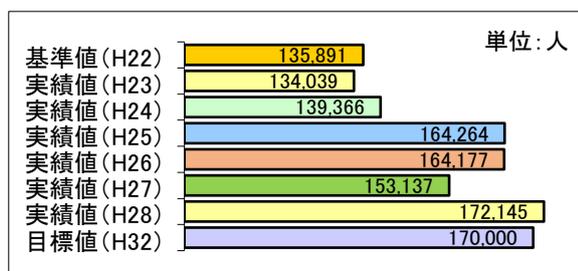
人口一人当たり貸出数: (貸出総数/人口)=7.7冊
インターネット等の普及による図書離れやくまの・みらい交流館の開館に伴い、併設された図書等の充実により貸出冊数が昨年度より大きく下回った。

■総合型地域スポーツクラブ (筆の里スポーツクラブ)会員数 (生涯学習課)



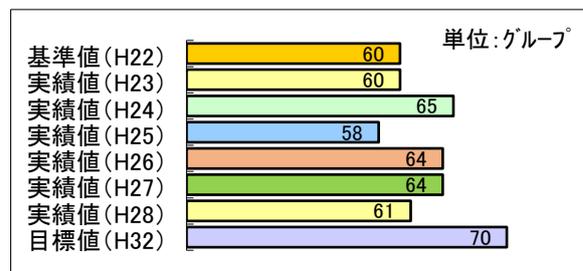
高齢者支援課、子育て・健康推進課と連携しながら健康体操や障害者スポーツ教室等を開催した。

■体育館等スポーツ施設の利用者数 (生涯学習課)



町民体育大会は雨天により中止となったが、熊野駅伝大会や町民グランドゴルフ大会など、多世代で参加可能な事業を複数実施した。

■町民文化祭の参加グループ数 (生涯学習課)



町民の生涯学習活動の発表機会を提供するため町民文化祭を開催し、展示や芸能発表、バザーなど61団体が参加された。

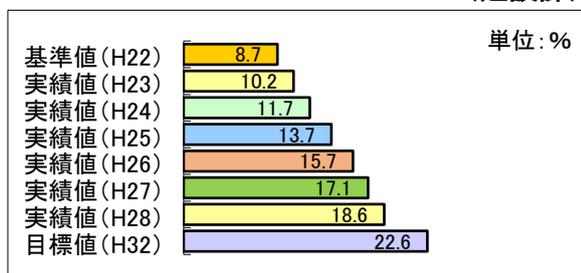
基本目標2 暮らしやすく、元気な「まち」を育む熊野

政策目標1 暮らしの基盤が整ったまちとする

秩序ある土地利用を誘導し、地域特性に応じたコンパクトで良好な市街地の計画的な整備や体系的な道路ネットワークの形成を進めます。そして、上・下水道など生活基盤の計画的な整備を進め、暮らしの基盤が整った、多様な定住を促進するまちとします。

■整備対象とする主要町道の整備率

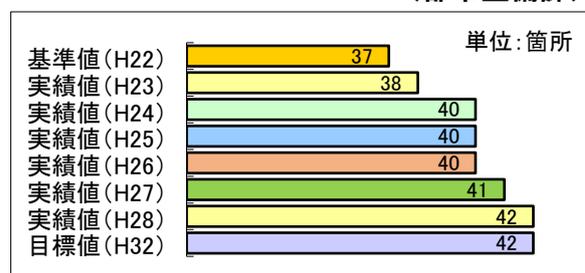
(建設課)



町道深原公園線、出来庭川角中央線、城之堀線、新萩線、藪太央線、呉出来線、稲垣線、鞆ノ河内線の整備を行なった。

■町内公園数

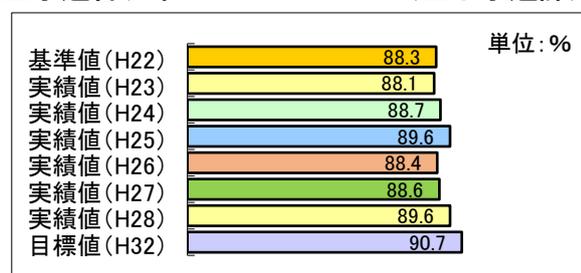
(都市整備課)



開発行為に伴う公園の帰属により1箇所増加した。

■上水道普及率

(上下水道課)

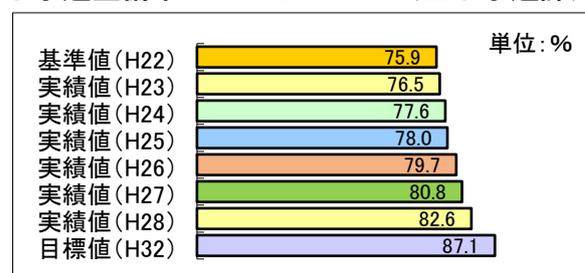


H28年度末現在普及率: 給水人口21,563人/給水区域内人口24,058人 × 100

未給水地区において4件の工事を実施したことにより、前年度と比較して1.0ポイント増となった。

■下水道整備率(供用開始済)

(上下水道課)



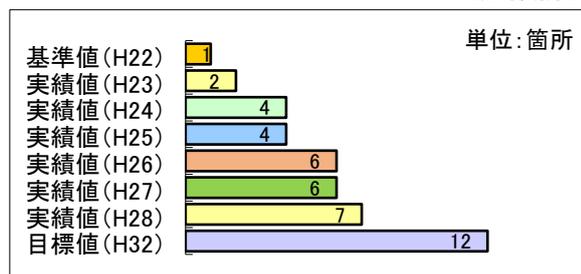
新宮地区約9.8haの下水道整備を実施した。整備率は1.8%増となった。

政策目標2 日常生活を快適に暮らせるまちとする

住民が安全かつ快適に移動できる生活道路や歩道の整備、公共交通の確保と利便性の向上に取り組みます。そして、身近な自然と暮らしが調和した熊野ならではの美しい景観を創出し、住民が日常生活を快適に暮らし、熊野に住む心地よさを味わえるまちとします。

■町道における車道の改良箇所数

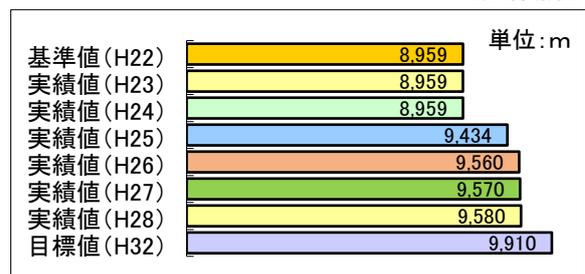
(建設課)



平成28年度までの実施箇所: 土筆ヶ丘1号線、岡線、中溝12号線、道上線、初神西線、堂ヶ迫呉地奥線、山崎線

■町道における歩道延長

(建設課)



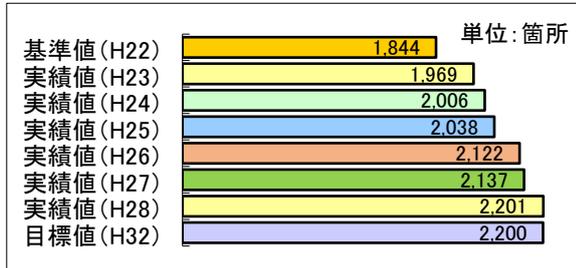
城之堀線 L=10mを整備した。

政策目標3 安全に安心して暮らせるまちとする

防犯力や交通安全対策を強化し、犯罪や交通事故が発生しにくい環境づくりを進めます。そして、地域の実情に応じた地域防災力や防災機能の向上を図り、住民が安全に安心して暮らせるまちとします。

■防犯灯設置基数

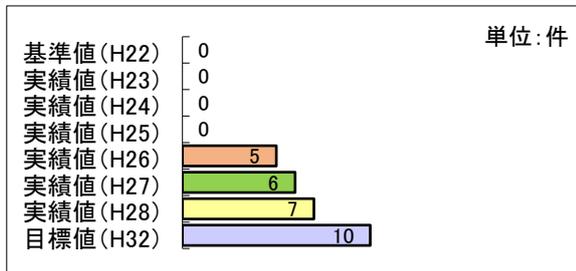
(生活環境課)



自治会の防犯灯設置(13箇所)に対して補助金を交付した。また、街路灯20箇所を新設したほか、防犯灯の実地確認により32箇所増加となった。

■自主防災組織における活動組織数

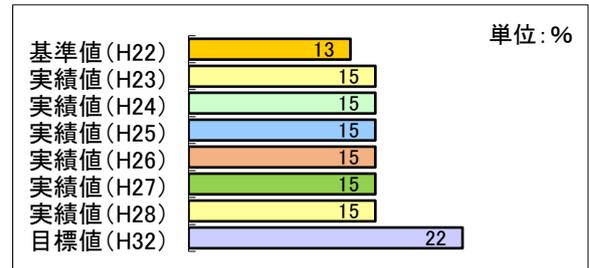
(総務課)



平成28年度は新たに1団体(平谷自治会防災会)が設立され活動が開始された。

■急傾斜地整備率

(建設課)



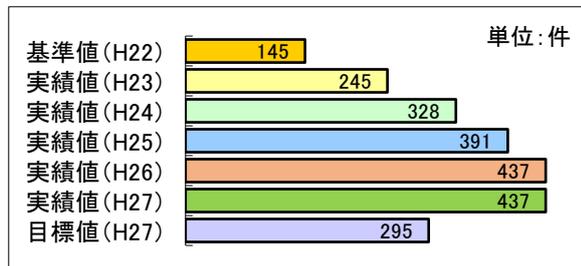
平成28年度は、整備要望がなかったため、異動なし。

政策目標4 地球環境に調和したまちとする

持続可能な社会の実現を目指し、低炭素社会や循環型社会、自然共生社会の構築に向けた取組を強化するなど、環境にやさしい暮らしを誇れるまちとします。農業については、農業生産と地域コミュニティ、他産業などの連携を強化し、環境と調和した安定した生産のまちとします。

■太陽光発電設置家屋の数

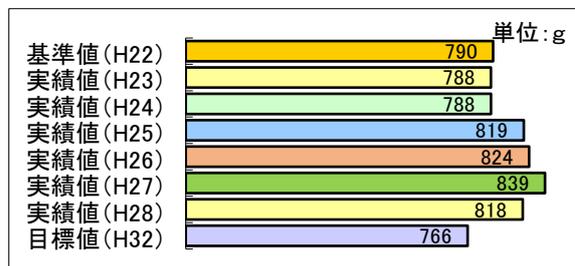
(生活環境課)



住宅用太陽光発電システムの設置に対する補助金は当初の目的を達成したため、平成26年度で廃止した。(前期基本計画で終了)

■ごみの一人当たりの排出量

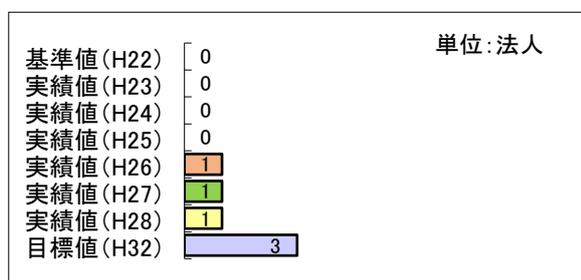
(生活環境課)



資源回収団体の支援(回収量57t)、生ごみ処理機等購入(5基)への助成を行なった。

■農業生産法人数

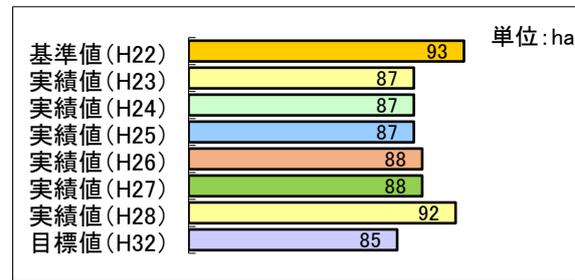
(都市整備課)



平成28年度増減なし

■有休農地・休耕田面積

(都市整備課)



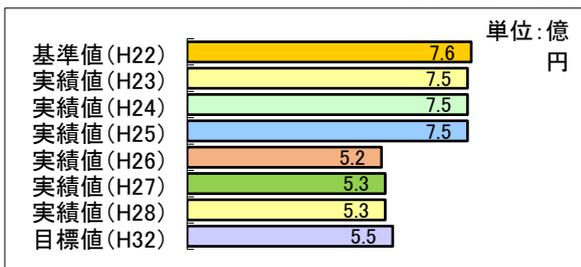
地域農業再生支援システム(平成28年度保全管理面積)より

政策目標5 元気のある産業が育つまちとする

筆産業の高度化・付加価値化などへの支援による伝統産業の基盤強化、起業支援や企業誘致など新しい産業の育成、就業機会の創出に取り組めます。そして、まちの賑わいの場となる商店街の活性化など、まちの活力を創出し、将来に向けた成長をけん引する元気のある産業が育つまちとします。

■人口千人当たり年間商品販売額

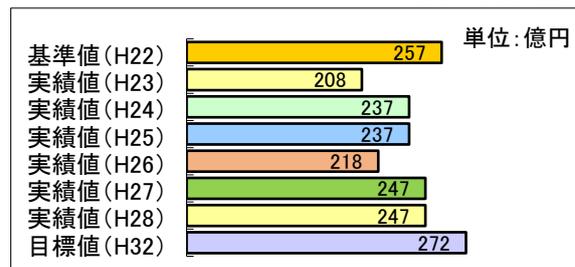
(商工観光課)



平成26年度商業統計 市区町別卸売・小売業の事業所数、就業者数、従業者数、年間商5品販売額外より
※小売業の対象業種の変更により目標値を修正

■製造品出荷額等(従業員4人以上の事業所)

(商工観光課)



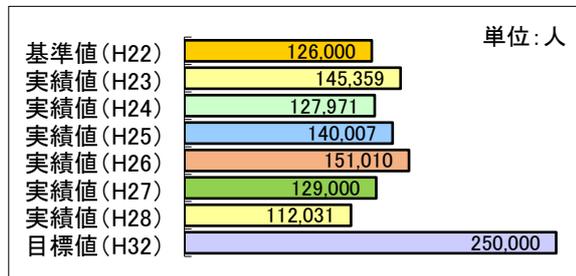
平成26年度工業統計調査「従業員4人以上の事業所に関する統計調査表」より

政策目標6 筆産地の歴史と文化を生かした出会いと交流のあるまちとする

日本一の筆産地の歴史と文化を誇りとしながら、多様な地域資源を総合的に活用し、ネットワーク化します。そして、その個性と魅力に磨きをかけることにより、多くの人を惹きつけ、新たな出会いと交流が賑わいと感動を創出する個性と魅力に富んだブランド力のあるまちとします。

■年間入込観光客数

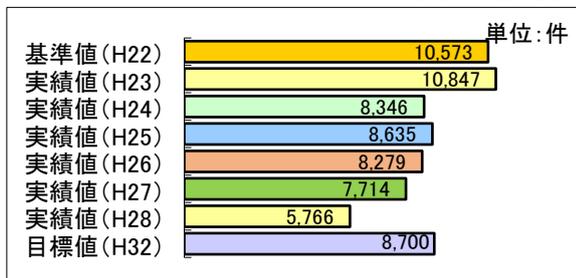
(商工観光課)



イベントには多くの観光客が訪れたが、筆まつりが雨天だったことなどにより、観光客数は前年度より減少した。

■ありがたいの絵手紙大賞の応募者数

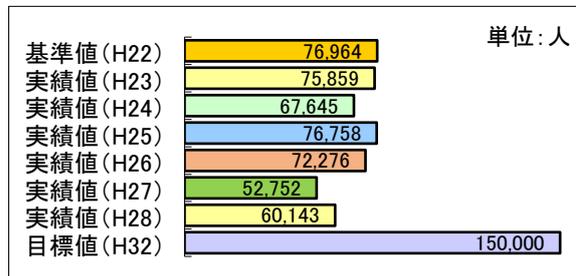
(商工観光課)



筆の里工房が実施している公募事業(20回目)であるが、絵てがみ人口の拡大が図れなかったため、応募者数が減少した。

■筆の里工房年間来館者数

(商工観光課)

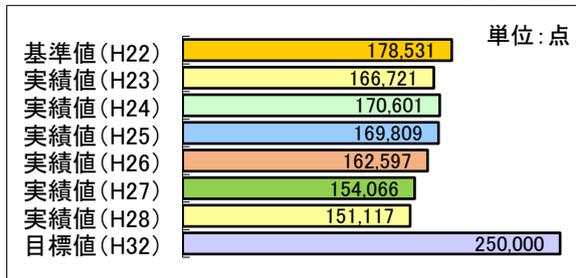


「近藤喜文展」や「安達春汀展」など6つの企画展を開催し、筆文化の魅力を発信した。

外壁工事による約1ヶ月間の休館が影響した平成27年度と比較すると、来館者数は増加しているが、平均より下回っている。

■全国書画展覧会の応募作品数

(生涯学習課)



本町教育委員会が進める低学年書道科の推進などを通して、町内外に書写書道の重要性をPRしたが、作品応募数は減少した。

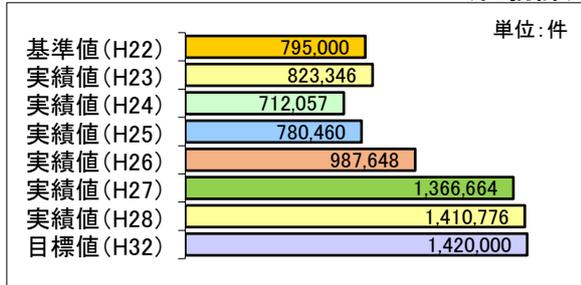
行政運営 住民の満足度の高い魅力的なまちづくりを行う

運営目標1 住民との協働による信頼と連携の地域経営を確立する

情報の共有化などによって、住民と行政の信頼感を構築します。そして、住民と行政がそれぞれの責任と役割分担のもと、共通の目標に向かって知恵と工夫を発揮する、住民との協働によるまちづくりを推進します。

■町ホームページへのアクセス数

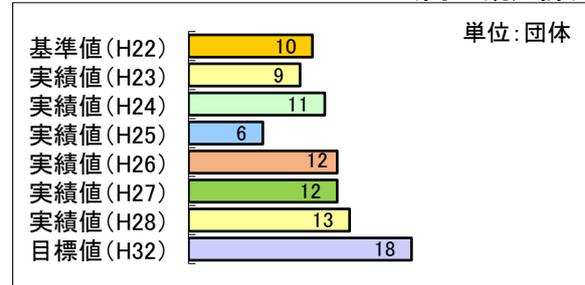
(総務課)



平成27年度から「ふるさと納税」に関するコンテンツへのアクセス数が多い。また、町内のごみの出し方に関するものや、公民館行事及び筆まつりなどのイベントに関するものについてもアクセス数が伸びている。

■まちづくり活動団体数

(商工観光課)



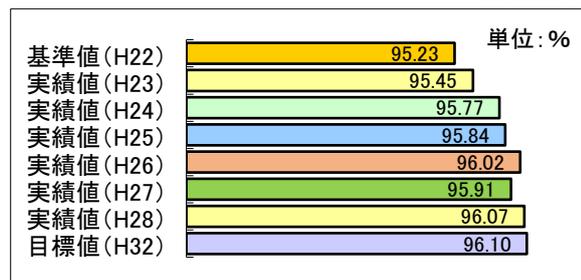
まちづくり団体に対する育成支援を継続しており、平成28年度は新規に1団体を支援した。(平成28年度補助金交付団体4団体)

運営目標2 持続的なまちづくりを支える行政運営を確立する

財政の健全化や組織の活性化を進め、施策の重点化、総合化、横断化を図るとともに、透明性の高い計画の進行管理を行い、ムダ・ムリ・ムラのない先進性の高い行政運営に努めます。

■町税徴収率

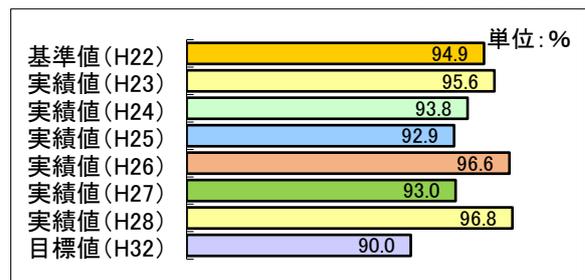
(税務課)



多段階催告や適正な滞納処分を執行した。また、コンビニ収納の導入により、納付の利便性向上を図っている。

■経常収支比率

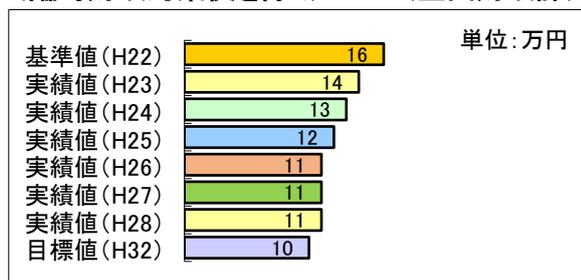
(企画財政課)



平成28年度経常収支比率: 経常充当一般財源4,746,069千円/経常一般財源4,902,325千円

■町民一人当たりの起債残高 (臨時財政対策債を除く)

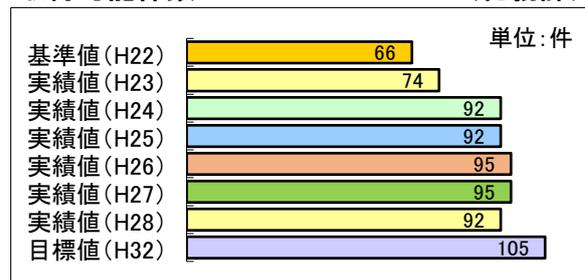
(企画財政課)



(平成28年度末起債残高6,421,901千円-臨時財政対策債残高3,778,499千円)/平成28年度末住民基本台帳人口24,339人

■町ホームページによる各種申請書様式の取得可能件数

(総務課)



前年度と比較して3件減少した。

まちづくり指標進捗状況一覧

	政策目標	施策目標	指標	基準値 (平成22年)	前期基本計画					後期基本計画			単位	担当課	
					平成23年 実績値	平成24年 実績値	平成25年 実績値	平成26年 実績値	平成27年 実績値	前期目標値 (平成27年)	平成28年 実績値	進捗 状況			後期目標値 (平成32年)
1	子どもが健やかに、たくましく育つまちとする	地域ぐるみで子育て支援を行う	乳幼児健診の受診率（1歳6ヶ月児・3歳児）	1歳6ヶ月児 85.4	89.9	93.2	91.6	87.8	86.4	90.0	88.1	○	100	%	子育て・健康推進課
3歳児			79.5	90.7	98.4	91.6	96.6	88.5	85.0	95.9	○	100	%		
2		ファミリーサポートセンターの登録者数	117	126	130	142	139	136	150	140	○	200	人	子育て・健康推進課	
3		心豊かで能力のある人材を育成する	「授業がわかる」と回答した児童生徒の割合（小学生・中学生）	(小)82.3	79.7	83.4	84.9	83.8	85.9	83.0	74.2	△	90.0	%	学校教育課
4	(中)74.0		72.4	70.2	83.0	83.4	88.3	75.0	80.9	△	85.0	%			
5	共に支えあい、健やかに暮らせるまちとする	生涯にわたる健康づくりを支援する	各種がん検診受診率	22.7%	26.3	27.4	28.0	31.1	29.3	30.0	26.5	△	50.0	%	健康課
6			特定健康診査受診率	34.9	36.1	35.2	35.6	39.0	36.0	41.0	33.6	△	51.0	%	住民課
7		健康づくりへの支援の満足度	48	—	—	—	—	—	50	—	—	60	%	子育て・健康推進課	
8		高齢者や障害者など、誰もが地域で自立して生活できるよう支援する	認知症サポーター数	422	749	876	1,108	1,348	1,748	1,000	2,047	○	2,250	人	高齢者支援課
9	住民の誰もが尊重され、活躍できるまちとする	すべての人が自分らしく生きることのできる社会を確立する	高齢者ふれあいサロン（ミニダイホーム）の延べ利用者数	6,914	7,518	9,327	12,182	13,417	16,078	7,600	16,664	◎	14,100	人	高齢者支援課
10			人権尊重を目的とした講演会等の年間参加者数	531	386	465	780	489	345	560	420	○	600	人	生涯学習課
11	住民が創造力を発揮できるまちとする	生涯にわたって学べる環境を整える	審議会などにおける女性委員の比率	25.3	23.7	25.0	25.0	30.4	28.0	30.0	33.0	○	35.0	%	生涯学習課
12			図書館における人口一人当たりの貸出冊数	8.1	8.5	8.5	8.2	8.0	8.5	10	7.7	△	11	冊	生涯学習課
13		総合型地域スポーツクラブ（筆の里スポーツクラブ）会員数	1,064	1,023	1,035	1,049	989	971	1,500	956	△	1,200	人	生涯学習課	
14		体育館等スポーツ施設の利用者数	135,891	134,039	139,366	164,264	164,177	153,137	143,000	172,145	◎	170,000	人	生涯学習課	
15	暮らしの基盤が整ったまちとする	地域文化を継承し、発展させる	町民文化祭の参加グループ数	60	60	65	58	64	64	65	61	△	70	グループ	生涯学習課
16		道路の利便性を高める	整備対象とする主要町道の整備率	8.7	10.2	11.7	13.7	15.7	17.1	19.1	18.6	○	22.6	%	建設課
17		町内公園数	37	38	40	40	40	41	39	42	◎	42	箇所	都市整備課	
18		生活基盤を整える	上水道普及率	88.3	88.1	88.7	89.6	88.4	88.6	90.3	89.6	○	90.7	%	上下水道課
19	日常生活を快適に暮らせるまちとする	快適に移動できる環境を整える	下水道整備率	75.9	76.5	77.6	78.0	79.7	80.8	81.1	82.6	○	87.1	%	上下水道課
20			町道における車道の改良箇所数	1	2	4	4	6	6	6	7	○	12	箇所	建設課
21	安全に安心して暮らせるまちとする	犯罪や交通事故から住民を守る	町道における歩道延長	8,959	8,959	8,959	9,434	9,560	9,570	9,510	9,580	○	9,910	m	建設課
22			防犯灯設置基数	1,844	1,969	2,006	2,038	2,122	2,137	1,900	2,201	◎	2,200	箇所	生活環境課
23		急傾斜地整備率	13	15	15	15	15	15	18	15	△	22	%	建設課	
24		自主防災組織における活動組織数	0	0	0	0	5	6	5	7	○	10	件	総務課	
25	地球環境に調和したまちとする	環境にやさしい暮らしを確立する	太陽光発電設置家屋の数	145	245	328	391	437	437	295	—	—	—	件	生活環境課
26			ごみの一人当たりの排出量	790	788	788	819	824	839	774	818	○	766	g	生活環境課
27		地域の暮らしに密着した農の里をつくる	農業生産法人数	0	0	0	0	1	1	1	1	△	3	法人	都市整備課
28		有休農地・休耕田面積	93	87	87	87	88	88	85	92	△	85	ha	都市整備課	
29	元気のある産業が育つまちとする	産業を元気にする	人口千人当たり年間商品販売額	7.6	7.5	7.5	7.5	5.2	5.3	8.0	5.3	△	5.5	億円	商工観光課
30			製造品出荷額等（従業者4人以上の事業所）	257	208	237	237	218	247	282	247	△	272	億円	商工観光課
31	筆産地の歴史と文化を生かした出会いと交流のあるまちとする	筆産地の魅力を高める	年間入込観光客数	126,000	145,359	127,971	140,007	151,010	129,000	150,000	112,031	△	250,000	人	商工観光課
32			筆の里工房年間来館者数	76,964	75,859	67,645	76,758	72,276	52,752	100,000	60,143	○	150,000	人	商工観光課
33		筆の都から美を発信する	ありがとうの絵てがみ大賞の応募者数	10,573	10,847	8,346	8,635	8,279	7,714	11,000	5,766	△	8,700	件	商工観光課
34		全国書画展覧会の応募作品数	178,531	166,721	170,601	169,809	162,597	154,066	200,000	151,117	△	250,000	点	生涯学習課	
35	住民との協働による信頼と連携の地域経営を確立する	住民との信頼関係を強化する	町ホームページへのアクセス数	795,000	823,346	712,057	780,460	987,648	1,366,664	800,000	1,410,776	○	1,420,000	件	総務課
36			住民との協働のまちづくりを進める	まちづくり活動団体数	10	9	11	6	12	12	14	13	○	18	団体
37	持続的なまちづくりを支える行政運営を確立する	自主性・自立性の高い財政運営を行う	町税徴収率	95.23	95.45	95.77	95.84	96.02	95.91	95.50	96.07	○	96.10	%	税務課
38			経常収支比率	94.9	95.6	93.8	92.9	96.6	93.0	92.5	96.8	△	90.0	%	企画財政課
39		町民一人当たりの起債残高	16	14	13	12	11	11	15	11	△	10	万円	企画財政課	
40		社会の変化に対応できる行政運営を行う	町ホームページによる各種申請書様式の取得可能件数	66	74	92	92	95	95	80	92	△	105	件	総務課

※進捗状況凡例 ◎:後期目標を達成 ○:前年度から改善 △:前年度と同数値又は後退
 ※基準値(H22)は計画策定時における把握数値であり、平成22年度実績値とは異なる場合もあります。
 ※指標7は計画策定時におけるアンケート調査に基づく数値であり、H23以降アンケート調査未実施により把握できていないため「-」表示としています。
 ※後期目標値(H32)は後期基本計画策定時の見直しにより、当初の設定値から変更している場合もあります。